

平成22年度中津南・東地区合同女性懇談会議事録

開催日時	平成22年11月4日（木曜日） 15時00分 ～ 17時00分
開催場所	中央公民館 大ホール
出席者	市民：中津東地区 13名 中津南地区 16名
	行政：大山市長、林地域振興局長、安部企画部長、氷室コミュニティ課長、斉藤広報広聴課長、外（コミュニティ課2名、広報広聴課1名、秘書課1名）

司 会：最初に大山耕二中津川市長さんからご挨拶いただきたいと思いますのでよろしく
お願いします。

市 長：みなさん、こんにちは。市政の推進という面で、色々な形で皆様にも関心を持って
いただいていると思います。今日はそういう皆様方と生のやりとりをさせていただき女性の視点から
市政についてのご意見を頂いて、それを市政に反映していくことを、市長になってから続けさせて
いますが、言いつばなし、聞きつばなしにしないということで、広報公聴課のスタッフが記録をして
取り組んでいる。市政報告ですが、2期目の市政について、時代潮流を踏まえた22年度予算で、
どういう行政を進めようとしているか書いています。2期目の市政について、広報なかつが
わに載せさせて頂きました平成20年6月号ですが、市政運営方針が1番の基本になります。
①財政の健全性を確保して、②市役所改革を実施して、③市民のみなさんが望む必要な事業を
実施することです。最終的には市民の皆さんが望む必要な事業を実施することですが、それは
健全な財政を確保した上で、市役所改革も実施した上で取り組もうとしている。財政の健全性を
確保しないと、お金が続かない。市役所改革を実施しないと、職員の力が続かない。お金と
職員の下の2つを併せて、市民の皆さんが望む事業を実施できるようになることです。財政の
健全性の確保では、借金を返す以上に借りない。借金が減ってくるわけですが、私が市長にな
った時に合併があり、旧町村の借金も併せて1,107億あった借金が、5年を経て平成21年度、
6年を経て、平成21年度は954億と、150億以上減らした状態になっています。2番目に、やる
事はやらなければいけないことで、国・県の補助金を獲得し、少ない市のお金で事業を実施す
るという方針でいます。3番目は、合併特例債。これは、返す時に、国がお金の一部を出してく
れる、有利な借金を活用する。4番目、利率の高い借金は繰り上げ償還により早く返す。利率
の高いのは繰り上げ償還ということです。返さないといけない時期が設定してあるが、早く返
す。市役所改革を実施して、総人件費を抑制する。このように5つの項目を掲げて取り組んで
います。

市役所改革については、市民の皆さんの期待に確実に応え、限られた職員と予算で行政サー
ビスをしっかりと提供する力強い市役所に変革する考え方です。その

ためには四つの市役所気質、これがあると職員に元気が出てこない。仕事を通じて市役所力、職員力とチーム力をアップして、楽しくやりがいのある市役所にする

と揚げています。これは力が不足していると、いくらお金をつぎ込んでも、使う力がないと仕事ができないので市役所改革を揚げているところです。公約を風化しないために内容を書かせて頂きました。基本的な考え方で、2頁目ですが、平成22年度になって、半年以上過ぎたけども、2期目を通して、どういうところに重点を置いていくかが書いてあります。世の中の流れに対して市の行政を進めていく必要がある、時代潮流が書いてあります、これは世界同時不況が発生して、私達に暗い影を投げかけていること。円高になり景気が不安な状態である。行き過ぎたマネーゲームは規制が必要である。日本が少子高齢化社会として、停滞を招いている。デフレとも言われているが、内需を生む若年層の所得と年金を保証することが必要と思う。晩婚化と言われているが、所得がない部分で、どうしても結婚という方向に向かない。出産にも繋がっていかない形であると思う。地方において人口の減少がはなはだしい。国が制約する部分が多いが、そういう時代を背景にした取り組みをしていく必要がある。政権交代がありましたが、ゆるぎなく「豊かな自然と独自の歴史文化が光るいきいきとしたふるさと中津川市」を目指して、公約を実行に移していく。とりわけ時代潮流を踏まえて、リーマンショックの経済後退からずっと携わってきましたが、今度は円高の不況が忍び寄っている

ので、引き続き必要である。少子化対策の観点から、産業振興、住宅施策、子育て支援の3点セットに加えて、教育、医療、交通、情報の4分野の施策に重点的に取り組む。③地球環境問題解決への貢献、④読書活動向上運動や広域のまちづくりやミックス事業。広域のまちづくりとして、今はリニアモーターカーの事が言われているので、それに対応してできるようにしている。もう1つの資料ですが、今申し上げた重点的な施策が揚げてあります。このような形で取り組みを重点的にやっている。その背景が、今申し上げた考え方であるのでご理解をお願いしたい。今日は主に懇談を重視して進めていこうということですので、私からの説明はこの程度にさせて頂きます、今日は皆様方のご意見を聞かせて頂き、お答えして有意義な時間になりたいと思ひまして、挨拶と市政報告とさせていただきます。

- ・出席者自己紹介
- ・懇談

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
昭和区 ●●	・災害時の人員把握について 災害時にどの家庭に何	市長	地域のつながりという形で、よく言われる話で、阪神淡路大震災の時に、コミュニティという人のつながりの強い

	<p>人、どれだけの人数がいるのか、実際把握していない。おそらく区長さんは把握されているかと思いますが、どれだけの人がどの家に住んでいるのか、町内でわかっていない。助けなきゃいけないという状態になった時に不安になります。</p>	<p>地域と弱い地域では発生時に助かる率が違うと後の調査でわかっています。地域社会、コミュニティの日頃の付き合いが大切である。認知症の方で、徘徊という状態になった時に、どこの家の人だったかわかる。子どもの安全という面で、子どもも大人が自分の地域の人かわかるかが大事。防災の面と福祉の面と、子どもが育つ地区というのは、地域の力が大事である。110歳の人が生きているのか家庭や近所に聞いてもよくわからなのが社会問題として出てきた。中津川も度合はわずかにしても、そういう社会的傾向の中にあると言える。昔は自然にお祭りの時、地域の子供は把握できた。防災訓練の時、子どももできるように、訓練する地域もある。一斉清掃も、子供にも出してもらって、皆で顔を合わせて自己紹介をやっているところもある。普段からある程度密にして、自然に、あそこの家にはどういう人がいるということ、みんながわかる状態にもっていくのが大事である。そういうリストを作って、書類だけではできないところである。普段の色々な行事や、仕事や付き合いを通じて、向こう三軒両隣という範囲の中で大体わかっていくこと。結果的に神戸の時にも、地域コミュニティの強弱が、生存率の対象になるという事と関連していると思う。高齢で独居の人はリストを作る形の中で把握をすることが必要。災害弱者対策で、障害を持った人や、高齢の人、独居の人、高齢独居の人、手助けが必要な人の部分は調べるように、区長会と連携を取って</p>
--	--	---

			<p>いる。進んでいるところは阿木や坂本。それぞれの地域において取り組んでいただく必要がある。市としては、区に呼びかけをしていきたい。地域コミュニティが大事でこれを強化するようにしたい。市が<u>主体</u>としてでなく、区長さんと力を合わせてやっていきたい。</p>
<p>中津東 ●●</p>	<p>・合宿の誘致</p> <p>中津川と言うと菓子がある有名で、完全に定着した状態になっていますが、他に立派な温泉や野球場があります。以前は人が多かったが今は閑散としていて経営的には苦しいのではないかと話をしている。野球場と温泉を抱き合わせて、大学の合宿に使うとか、高校野球も土岐まで行っているらしいが、立派な野球場があるから予選くらいに使ってもいいのではないかと。温泉とこちらの野球場を抱き合わせ少し格安にすれば、合宿や中日の2軍なんかも呼べるのではないかと思います。温泉の周りにはふれあい牧場もあり、いいジョギングコースになっていると思います。</p>	<p>市長</p>	<p>観光という側面と文化スポーツの側面ですが今のお話はどちらかというの外から人を呼んで来て、まちのにぎわいにつなげることだと思う。産業振興部の観光課でその話を聞いて、どういう形になるか検討していきたい。似た話で、私から観光課に指示しているのは、地歌舞伎が多く6つの保存会があり、年何回か講演している。名古屋近辺の歌舞伎好きの人に呼びかけ、歌舞伎を見る小旅行のような形で出来ないか検討させている。同じような趣旨だと思う。中津川にいろんな資源があるので、合宿の話も、夏は涼しい根ノ上やけやき平で合宿するのは学生さんも望むところであるので活用しなければいけない。今のご意見は、私の歌舞伎の話と同じ気持ちで、来て頂いた人達がお土産を買って帰ってくれるといいし、合宿に来た人達が、色々な食べものを、地元産品を消費してくれる形で趣旨はよくわかります。いい提案をして頂いたと思います。しっかり検討したいと思います。</p>
<p>18区 ●●</p>	<p>・大明神トンネルの照明</p> <p>大明神トンネルですが、すごく便利でありがたいトンネルですが、歩道を歩く時に暗くて、傍まで来ないと</p>	<p>市長</p>	<p>省エネプラス電気代ということになりますが、駅から近くトンネルの歩行者が利用者も多いと思いますので、つける方向で検討したい。今中津川全体では、電気代が高いため最初の設置費よ</p>

	<p>人の顔がわからない。あれは省エネのために電気が少ないのでしょうか？車に乗っていると全然わからないので、車から降りて、歩いて見てもらいたい。</p>		<p>りも維持管理費が課題になっている。小水力発電をして近くに発電機を回せる場所があれば、昼間は電気をためて夜使う。あのトンネルは昼間も暗いですが、車のほうは今の明るさで行こうと思います。</p>
<p>12区 ●●</p>	<p>・子供パトロールについて 中津川は、車で動かないと不便で、幼稚園の子どもは公立幼稚園に通っておりますので、毎日送り迎えをして歩いて通っているのですが、こどもパトロールというステッカーを貼った車が私と子どもが歩いている歩道に被せて、邪魔になりました。教育をしっかりして頂かないと私は納得できません。車社会で常に車に乗って移動されている方にはなかなかわからないと思いますが、もっと気をつけてもらいたい。</p>	<p>市長</p>	<p>今のパトロールはボランティアで大変貴重な取り組みをされている。地域のボランティアでやって見えることなので、市役所が間に入ということよりも、地域の中で直接言うのも確かに言いにくい部分と思うので、逆に”守ってもらっているのに”という事になる。地域の代表である区長さんをワンクッションとして、穏やかな形の中において、話を持って行ってほしい。ボランティアでやっている人達なので、志をしっかり持っておられるので、話が届けば、教育という話でなくても、応じていただけるとと思います。話があったことは、どこの地区とは言わずに、ボランティアの会議の中で我々も申し上げる。地域の中で区長さんを通じてやり取りしていただければ解決できると思います。</p>
<p>一色区 ●●</p>	<p>・観光客誘致にあたり施設の統合を・企業誘致等長期ビジョンを 中津川市には偉大な画伯や熊笹とか色々ありますが、施設が分散している。鉱物博物館は、いつ見ても車が5台と停まっていたことがない。もう少しまとめた中津川市の文化を紹介して頂きたい。地方から来て頂い</p>	<p>市長</p>	<p>リーマンショック後の経済対策として、十数期に渡り追加的に70億程の補正予算を組んだ。車産業もだいぶ回復してきた。有効求人倍率も一時は0.5%をきっていて、2人に1人しか職がなかった。国も県もそういう状態であったが、中津川市は県下でも回復の状態が早い方であり0.7%まで上がってきたが、今は円高で陰りが出ている。三菱電機や王子製紙や工業団地のお話を頂きましたが、正にその通りです。三</p>

	<p>でも案内しきれない。ある程度中山道を優先して、桃山にまとめていただいたらどうかと思う。</p> <p>・昔は、三菱電機とか王子製紙が<u>発展</u>し、今の中津川市が発展していると思います。最近で成功した例は工業団地、しかし世界的な不況で閉鎖している所もあると聞きます。これから製造業が海外へ出ていった時に、空洞化しないか心配である。長い目でビジョンを作ってもらって、計画的に進めていってもらいたい。これから将来若い人が安心して地元で働きたい。雇用がないと税収は上がらない。どれだけいい計画を立ててもらっても、実行するのは難しい。大きいビジョンで企画を持ってもらいたい。</p>	<p>菱電機の下請けを地元で一生懸命し、金型の技術ができて、今はトヨタの下請けまで出来る状態になった企業がきている。新しいことを始める企業を応援していく。同じような種類の仕事をやっても、2つは成り立たないから合併や力の強い企業が弱い企業を買収という形で維持していく考え方を、市として援助していく。国会とは違う形だが、中津川市は既存企業の生き残りに模索する企業を支援していく。将来の仕事としてモノづくりだけでなく、ソフト産業も跳躍できるようにしていきたい。市は加子母まで光ファイバーができています。環境の良いところで子どもを育てながら、自宅で仕事をできる状態、そういうものを育てたい。</p> <p>ビジョンとしてもう1つは、リニアの話。東京・名古屋間が40分になる。東京との距離でいくと、ソフト産業も相当有力な形に展開できると思う。リニアを観光だけでなく、産業起こしにも繋げていきたい。今、日本の研究開発の機能は、筑波と関西文化学術研究所です。東京の向こうに、筑波があるが、関西とはリニアが通る線上にある。このこと関西文化学術研究所は相当、短時間に繋げる形になってくる。相当先の話ではなく、今ある企業を中心に新しいことを展開することを市として応援したい。</p> <p>あとは、博物館の閑古鳥については、集めるということで、新しく建ててということではなく、今ある所を、いかに利用度を高くということ、鉱物館などはいかに売り込んでいくかが大事であ</p>
--	---	---

			<p>る。手始めに、市民の皆様に費用と利用率を公表して、チェックしていきたいと思う。一箇所に集めるのが、必ずしも良いものではないと思う。今ある所を活用しやすいように、課題を1つ1つ解決することで、活用度を上げる取り組み方針でいきたい。博物館という施設を整理する部分があると思うが、全体を見て手を打って、PRしてお客を増やしていく方向でいきたい。</p>
<p>24区 ●●</p>	<p>・にぎわいプラザの駐車場管理 駅裏の細い路地で、にぎわいプラザの無料の駐車場が昔の北恵那の所にあるが、無料ということで、電車で行く人も使っている。料金を徴収するべきと思うが。朝、車の量が多く、細い道なので側溝の上に乗って行くのですごい音がする。側溝の蓋が古くて欠けたり、変形しているのが多い。「にぎわいプラザの駐車場はどこですか？」と聞いてくるが場所を言っても、若い人にはわからない。</p> <p>・野球場を使いやすく先程野球場の話が出ていましたが、プロ野球を呼ぶのも良いですが、若い子達が草野球を楽しみでやっているという子たちもいるが、あちこち探しながらやっているのですが、多少お金を出し</p>	<p>市長</p>	<p>駐車場とU字蓋の関係はおっしゃる通りだと思いますし、常識的には駐車料金を払って使用するということになると思いますが、現場は状況を調査して音の問題を出さないような形に、構造を何とかしていくような形に手を打っていく。将来的には、北野には新しい道路が出来て、妙見橋から北野の方へ行く道路に、寄り添う形に、あちらの方から来る形になる、今の問題を、調査して手を打つという形でやっていきたい。</p> <p>練習とか試合とか色々なレベルの野球の取り組みがあると思いますので、それに応じた形で利用してもらおう。芝生が傷むから貸し出し状況を制限しているという発想を人もいるらしいがきちんと管理をして使ってもらおう。使ってもらおう状況も混んでくれば、ある程度、料金を上げ調整し、そうでない時には、</p>

	<p>てもいいと言っているの で、貸してあげてほしいと 思います。手続きが簡単な 方法で安く貸してやって欲 しいと思います。プロの人 を呼ぶばかり、商売屋さ んの儲けばかりだけでは なく、若い子の働いている 子の働く楽しみも作ってや ってほしいと思います。</p> <p>・うちの息子ですと全国大 会や、国体にも野球で出て おりまして、同じ年頃の子 が集まってチームを作って おります、3つも4つもチ ームをかけもちしてやって いるが、場所が無いという。 例えば名古屋ドームは1時 間30万円だと言われる。野 球は大好きという子はいっ ぱいいるので、グラウンドを 是非使わせてやってほしい です。</p>	<p>使ってもらうのが主であるので、使い やすさを考えて料金も考えなければな らない。使うこと、それから先程の片 方である程度レベル高い試合を呼んで くること、子どもたちに見てもらうの もいいではないかと思う。色々な面で、 今お話いただいたことを含めて、見直 しを考えていきたい。使う人達に力を 出してもらい、協力してくれた人達に は安くしていることをお伝えしてもら えればいいのかと思う。使ってもらうの が仕事ですので、使ってもらえるよう に仕組みをセットしていく考え方で す。</p> <p>苗木のグラウンドでもいいのではなか ということになるが、あれも今のお話の ように相当倍率が高い状態で、取り合 いで使用している。それと硬式ができ ると。土岐も硬式ができるが、中津川 の球場の方が、レベルが高いので、そ れを市民の皆様を活用してもらうの が、作った最初の課題であります。使 いやすいようにルールを組み立ててい く。実際使っている人の意見を聞いて、 どういう使い方をしていくかを、皆さ んにも納得して頂ける使い方にしてい きたい。</p>
<p>小鳩区 ●●</p>	<p>・ 野球場の使用料は高いの か 野球場使用料を勉強不足で 申し訳ないのですが、利用 できないほど、高い設定を されているのですか？ 土岐に行かなければならな い程、そのように高い設定</p>	<p>市長</p> <p>そうではないが、甲子園の予選も、土 岐の球場よりも中津川で試合をやって 欲しいと思っているが、高校の野球連 盟では、土岐と長良川と大垣のほうの 人が手放さない。我々も働きかけた、 せつかく立派な野球場を作ったからや ってくれと言ったが、高校野球の人達 も範疇の中でも取り組みの中で、どう</p>

	<p>をされているのですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を我々は知らないし、それで野球場を作った市が悪いという風潮になっているので、知らせる必要があると思う。知らせることによって、野球連盟の方達も移行するという事に繋がっていくと思う。働きかけを知らせることも1つの手段ではないか。 ・芝生が傷むというのは、どちらの方から言っているのですか？ ・ふれあい公社で管理している方が結構いると思いますが、そういう方たちの抵抗でしょうか？それだったらおかしいと思いますけどね。 		<p>してもそこでやる試合の数を中津川に持ってくるのに抵抗がある。単にお金を話だけではない。</p> <p>そういうこともやらなければならないし、もう1つは芝生の管理の事で、使用頻度の事に気を使い過ぎている部分もあるし、それを直していかなければならないし、知らせることもやっていきたい。</p> <p>管理はふれあい公社でやっているのですが、それは変えていくという形でやっていきたいと思います</p> <p>私もそこははっきりつかんでいませんが、芝生の管理をしっかりしてやっていきたいということで、使う度合という部分である程度制限をかけていると思う。国立競技場では、あんなに試合ができないのではという話になる、あれも天然芝ですから。ほどほどのところだと思いますので、この点をしっかりとやっていきたい。</p>
<p>中津東 ●●</p>	<p>・にぎわいひろば駐車場について</p> <p>市民病院の跡地ですけども、以前喫茶店に行ったり買い物行ったりするのに車を停めさせて頂いたが、ここ2ヶ月位柵がしてあります。声として、あそこにマ</p>	<p>市長</p>	<p>それは私もどういう形かよくわからないので、1回調べてお答えします。</p>

	<p>ンションができ、その人達が停めているから柵をしているのではないかという声がある。あそこが使えないと、あの辺りに行ったときにまったく不便ですが、状況をお伺いします。</p>		
<p>小鳩区 ●●</p>	<p>・ 福祉会館の駐車場不足 福祉センターの駐車場は最近では少しは増えているが、いまだに足りない。お母さん方が不便している話ですが、先日子育てサロンであった。子供を1人連れて、1人抱いて一緒に行くのに、駐車場が無い為、非常に不便である。川のほうに空いていれば停めるが、そこから、小さい子どもの手を引っ張って、抱いて連れてくるのは、非常に危ない。現在、福祉センターの隣にある駐車場は、福祉関係の車が半分以上常に停まっている。公用車をどこかへ移動させることができないか。</p>	<p>市長</p>	<p>それは出来ると思いますので、やっていきたいと思います。組織を改正した部分は、職員の通勤の駐車スペースを移すということでご理解を頂いて、そちらに移すことで容量をうみだして、市民の方に活用してもらおう。普通の店を考えて、店の仕事の車と、店へ働きに来る職員の車と、お客さんの車、どれが一番便利なところに停めてもらうのか。通勤の車が1番遠くていい、なおかつある程度負担してもらおう。三菱でも駐車場を用意して、従業員が通っているわけではない。民間と同じような形でなければいけないということで、抵抗があったが、互助会で借りて職員の駐車スペースをうみだした。次に仕事に使う車と、お客さんの車の順序の話になる。おっしゃる通りなので雨の日の対策も含めもう少し便利になるよう改善に取り組みます。</p>
<p>24区 ●●</p>	<p>・ 融雪剤散布が遅い 私は勤めていた時は岩村だったが、雪の降った時に融雪剤を撒くのが中津川は遅い。一括して業者がやってみえると思うが、恵那の方が圧倒的に早く撒いてある。通勤して見える人のためにも、もう少し早く融雪</p>	<p>市長</p>	<p>それは雪の降る量と効用ということだと思うが、恵那と中津川の比較の関係を持ち合わせていないので、調べておきます。</p>

	<p>剤を撒いて欲しい。</p>		
<p>17区 ●●</p>	<p>・旧国道19号線の速度制限変更について</p> <p>中津高校の下の旧国道は、前は40km/hだった。最近50km/hに変わったがどうしてか。西宮や宮前まで50km/hになっているが、歩道もないし、線が引いてあるだけ、どうして50km/hにしたのか、市とは関係ないですか？50km/hにする必要はなかったと思う。</p>	<p>市長</p>	<p>交通速度規制の部分で警察の見解だと思うが、私共の生活安全課に交通安全に関してどういう相談があったのか、一度確認をしてみます。</p>
<p>小鳩区 ●●</p>	<p>・市長に出向いていただくことは可能か</p> <p>各地域でグループ、出前講座があるが、要請があれば市長に出向いてもらうことは可能か？</p> <p>・尾鳩地区なので、高齢化関係や、非常にバスの面も悪い、いろんな面で地域としても危険地帯なところに住んでいることもあり、集会所やふれあいサロンとかでいろんな問題をやっているが、そういったことをなかなか届ける所がない、区長さんがいろんな所で話をさせてくださっていると思うが、住民の声を一度是非聞いていただきたいという思いがある。</p>	<p>市長</p>	<p>市政報告はやっている部分はあるが、可能は可能であるが、講座、市政報告はやっているが、どんな集まりなのかとかそういう形において、個別対応でやらせて頂いている。</p> <p>私の「四つの姿勢」の中にも、1つ目は、公平公正なことで信頼関係を保つ。信頼関係がないと、私の方からいろいろ話をしても聞いてもらえないし、信頼できない人間は、市民の皆様も聞いても仕方が無い。本来でいくと、市長が直接聞くだけでなく、私の身代りに、目となり耳となる職員を増やさなければならない。そうすると問題が出てくるが、目となり耳となるけども本当に手は動くのか。頭で考えられて、手は動くというところまでいくのか。とりあえず聞かせて頂いたことは、覚えているのかどうかというチェックに使わせて頂くが、1つ1つ直接のやり取りの中から動くというのは、色々な行政</p>

	<p>・来ていただけるかどうかということについて微妙なお答えだと思いますけども、4年間の任期の中で要請のあったところへ出向く、全部じゃなくてもいいですが、そういう部署から要望があった場合、来ていただけるように検討をして頂けるのかどうかということをお聞きしたいです。</p> <p>・案件をまとめて秘書課の方に、申し入れを致します。</p>	<p>から不可能だと思う、大きな行政課題は、聞かせていただく部分はあるが、側溝をどうにかしてという形だと不可能な部分である。そういう声が届いていたとしたら、何でやらなかったのかというチェックをするのに使わせていただく。</p> <p>なかなかお答えにくいですが、行かせて頂く部分もあるし、そうでない部分もある。</p> <p>個別にお答えする場合がありますし、行かせて頂く場合もあると、そういう具合に受け取ってもらえたらいい。</p>
<p>小鳩区 ●●</p>	<p>・市長に意見が届いているか</p> <p>各課へ言ったことが、きちんと市長ところまで届くのかどうかという不安がある。そこで仕分けをして、自分達に都合が悪かったら、じゃあこれはというようなことはないですか？</p>	<p>市長</p> <p>それは大いにある話でして、逆にそういうところはチェックして、そうしなければいけない。それが市役所を変えていくということになる。4つの気質の内待つ気質を変えていかなければ行けない。内で待つ気質というのは、皆さんの意見を聞かないということで、待っていてこられたら最初の入り口で、できない理由を並べて、それでも変えられないところは聞かせてもらうわけだが、「検討します」と言うが、いつになったら答えがくるのか。一生懸命やってくれる部分もあるが、そう</p>

	<p>・是非変えていただきたい。市役所各所に意見箱があるが、ある課で「この用件を出したら、ちゃんと市長のところまでいきますか？」と聞いたら「いいえ、届きません。」と言われた。「部署で仕分けをします」と「自分達都合が悪かったらボツです」ということだったので、質問した。</p> <p>・それは同感です。そういう部分の改革がきちんと進んでいくことを望みます。</p>	<p>いうところが無いかと言われるとその部分がある。変えていかなければいけない。</p> <p>それも正解な部分もあります。全部が全部市長の所に届いて、市長が動かないと動けないということでは話にならない。大きなことはあげろと、リアルタイムにあげろと言っている。各部長に重要案件はリアルタイムで報告せよと言っているが、それが難しい部分もあり、出来ない部分もある。重要案件は市長で、そうでないところは部長、もう少し下の課長だけで判断する市役所でないとダメだと思う。</p> <p>本来は報告しなければいけないことを、入り口のところで断ってしまい、判断は、部長クラスのところまで通るところを、誤って判断すると、自分がやらなければならないと思うのです。あげずにいたらやらなくていいという部分もある。今までやってきた仕事のやり方で、そこ変えるのが大変である。そういうところを大きな意識で変えていくことであるが、なかなか苦しいところもある。市民の皆様にとっては不幸だと私も充分認識している。今、こういう所で聞かせていただいた事を1つの材料として、市役所を変えていくのに私達は活かしていきたいと思っている。</p>
--	---	--

・まとめ

市長：今日は熱心取り組みありがとうございます。言いつばなし、聞きつばなしにしない事と、今説明したように、この会で出た話をきっかけに、市役所全体を変えていくような取り組みをしていくことも、大きな狙いとしてある今の取り組みを聞いていただけたと思う。組織全体としてしかるべき事を判断して、適切な判断が

出来るように。○△×と、色々な話をして頂いた時に、その通りやらなければいけないものは○、すぐに答えられないものは△、これはやるかやらないかは、今は言えないが、なぜ言えないか、説明してこういうことを調べて検討した上に、いつ頃までに返答するという事を言わなければいけない。×はやりませんということですが、単にやらないということだけでなく、こういう理由でやりませんと丁寧に申しあげないといけないと言っている。できるだけ、やる人も本当はいくらかかるのか、どれくらい時間がかかるのか、どれくらい困難なのかを説明させていただくのが丁寧でいいと思っている。それがきちんとできる市役所になるのに、これはまた大きな課題であり、大棒にして結論だけで終る。理由のプロセスの説明ができない、不足している、こういうことが今までの中津川市役所である。私も6年、市長を担当していますが、最初から言っていることは、できてない部分も多くあるのですが、出来る事もだいぶ出てきた。市長になって2年くらいは、これができると思っていたことが、できないのかと評価を落としていたが、3年目くらいからこれはちょっとできるようになったかと、自分の意識の中で職員の方、取り組みが変化してきた部分があった。出来ないという認識から出来るようになったなというのが今になります。そういう意味では私が市長にならずに楽にいたらよかったのかもしれませんが、私も仕事をやらしてもらった以上職員も大変だが、引き続きしっかりと出来るような形に持っていきたい。そのためには意識を変えていきたいと努力をしているところです。市民の皆様から見ると、まだ市役所の仕事で目に付くことがあるかと思いますが、担当部署だけでなく、広報公聴課に届けて頂ければいいかと思う。即答は出来ませんが、市民の皆様の方に立って物事を取り組むという課と考えております。今までの直行便も考えておりますが、直行便は各課へ流すので、担当課はどちらかというとなかなか改革するという風に繋がっていくような形と、全ての職員が消極的に取り組んでいるわけではないが、私の担当の中でも出来ないことが出来るようになってきたので、取組を続けていこうと思う。市民の皆様の方の声を上げて頂ながら、市民の皆様には少し長い目でというわけにはいかないが、それなりの時間的な辛抱をして頂きながら、1つ1つ良い市役所にして行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。今日お答えした話はしっかり記録をとっておりますので、お答えした部分を言いつばなし、聞きつばなしにしないにしないというのも、別に契約があるわけですが、私も全部チェックできていないので、少しずつでも今あそこの広報公聴課の林さんが組み立てて、副市長と相談しながら、いい形で提案してくれています。今日提案して頂いたものを有意義な形で市の行政に活かし、最終的に皆様にメリットが反映できるようにしたいと思います。